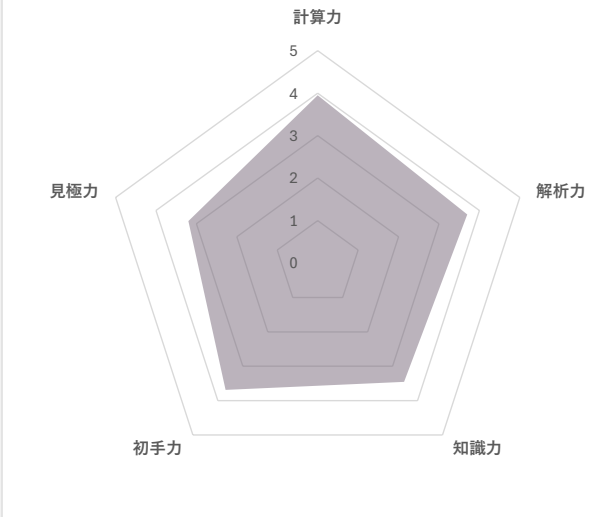


総合分析

試験区分 一般

制限時間 90分 大問数 全3問

合格に要する能力 (5段階)



合格に要する能力 (5段階)

計算力	3.8	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.5	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.3	解くことに必要な知識の量
初手力	3.5	初手の難しさ
見極力	3.0	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野

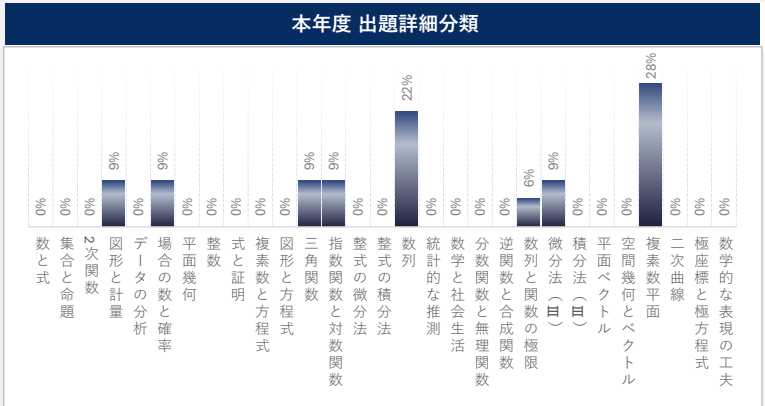
数学 I	9%
数学 A	9%
数学 II	18%
数学 B	22%
数学 III	14%
数学 C	28%

本年度 解答形式

論述 100%

本年度出題テーマ一覧

第1問	小問集合
第2問	連立漸化式(食塩水の濃度)
第3問	複素数平面



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価

難度	3.4	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想)	68%
分量	90分	完答に要する時間 (制限時間は90分)	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

入試から見る 大学が求める学生像

標準的な問題が多く、発想力が必要な問題も多くなかった。しかしながら計算量は多く、手を動かしてみると見た目よりも大変だっただろう。解法は思いついたものの答えを出し切ることができなかった学生も多いと思われる。基本的な作業を最後までしっかりとやりきることができる学生を求めていると考えられる。